

GMOサイン連携の設定ガイド

Connector for Salesforce

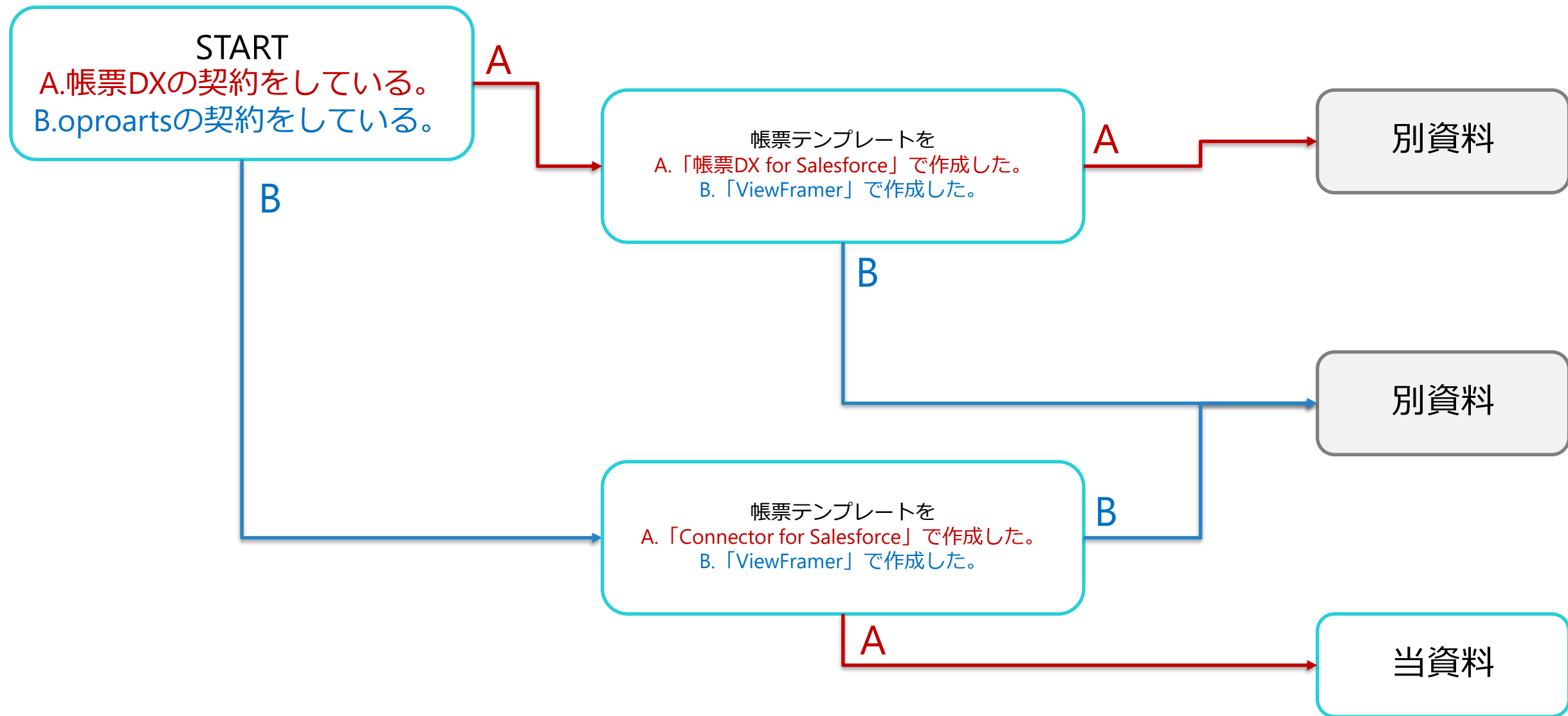
DX推進本部SE部



本資料について

- 同梱している以下の設定ファイルの変更部分を案内するガイドです。
 - ① D3Worker用「GMOサイン連携サンプル設定（connector for Salesforce テンプレート）.d3w」
- PDFを生成しGMOサインで電子署名の配信を設定する内容です。
- オプロでデモをしている内容をお客様環境で再現いただくための最低限の項目のみ解説しています。
- 必須項目は「*」で表現しています。

本資料について

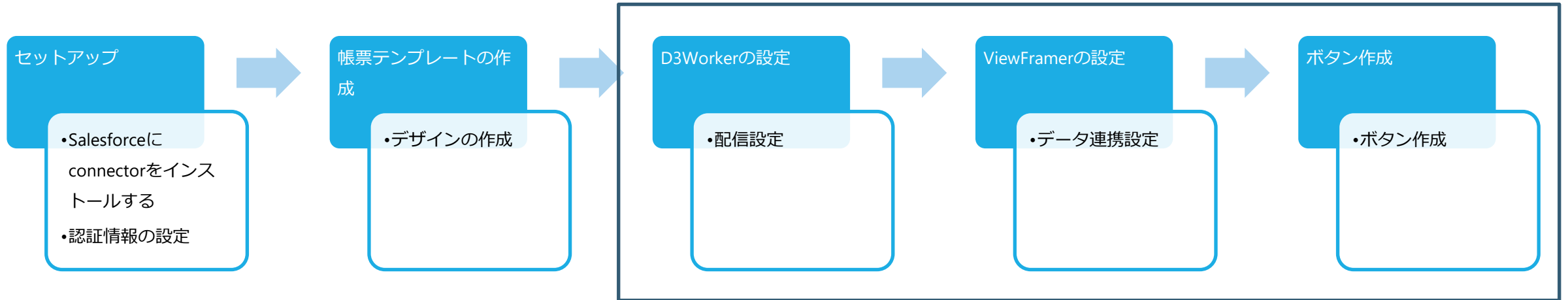


事前準備

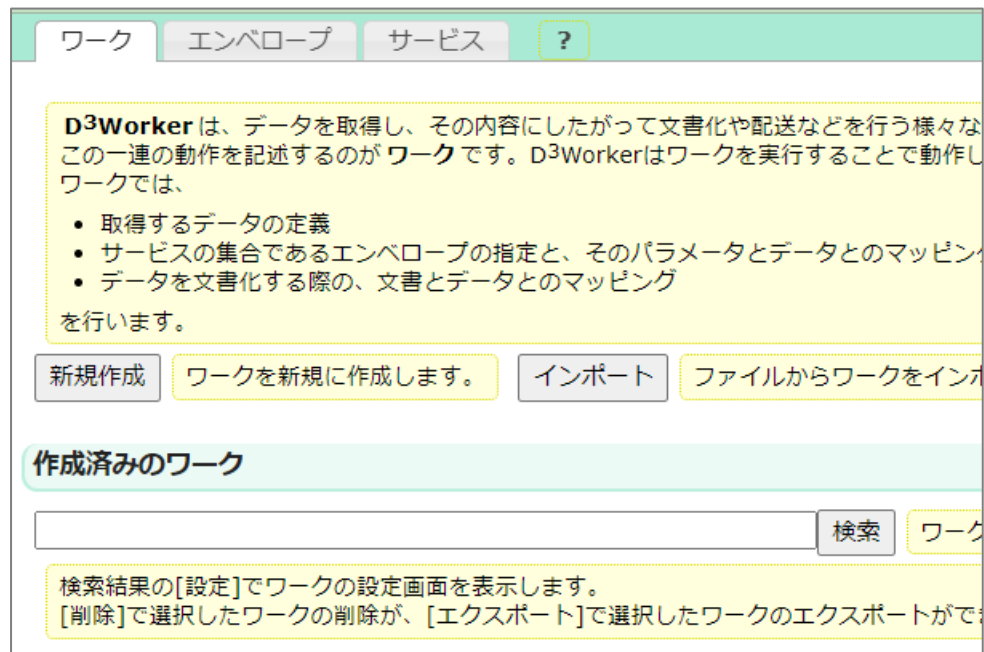
1. Salesforceにoproarts connectorがインストールされ、認証情報が登録されていること
 - ・ セットアップガイドを一通り行ってください。
2. GMOサインのご契約をされていること
 - ・ 弊社とは別契約となります。
3. 帳票テンプレートが作成済みであること
 - ・ 「Connector for Salesforce」で作成している。

全体設定の流れ

当資料の範囲



D3Workerにログインする



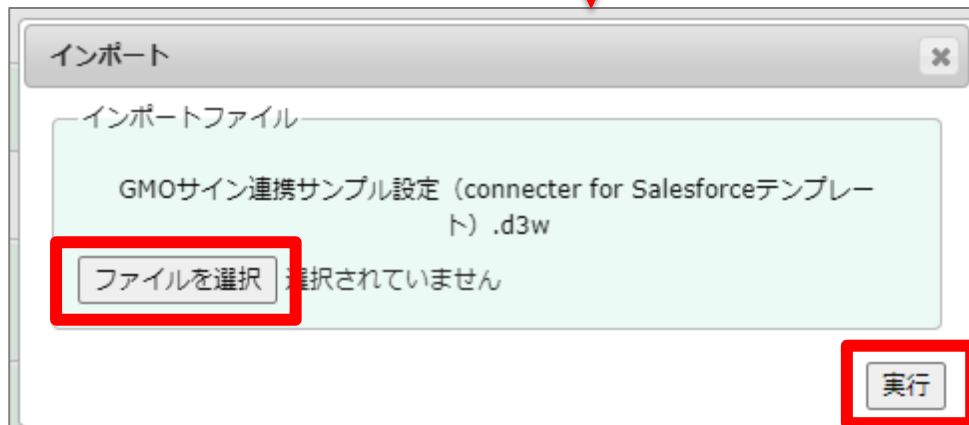
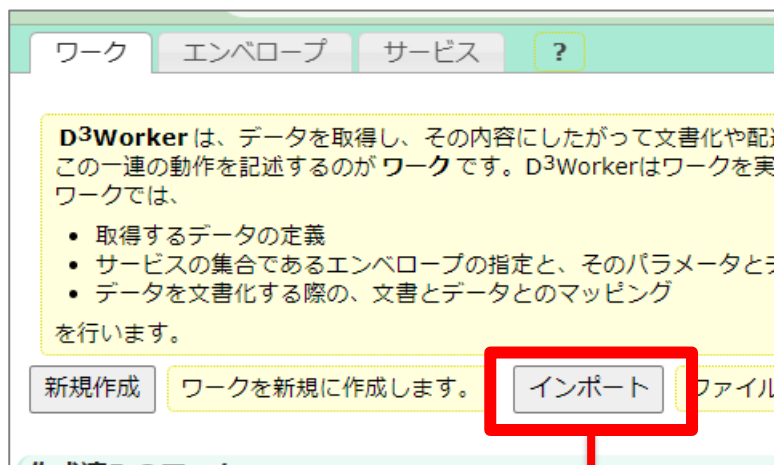
1. 弊社から認証情報が記載されたテキストファイルが送付されています。

1. 見つからない場合は、営業・SE・サポートのいずれかにご連絡ください。

2. 「D3Worker.txt」内の「設定画面」URLをブラウザで開いてください。

1. UID、UPWも同テキスト内に記載されています。

GMOサイン連携サンプル設定.d3wをインポートする



1. 「ワーク」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で、「GMOサイン連携サンプル設定（connector for Salesforceテンプレート）.d3w」ファイルをアップロードし、実行をします。
3. 「検索」をクリックすると、インポートした設定が表示されます。

D3Workerの構成

配布サンプルは以下の構成となっています。1つのボタンに対して、3つのワークが1から3の順番で動作します。

1. ワーク「GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO」

- エンベロープ「①GMOサイン連携（[帳票名]）」
 - サービス「OPROARTS Live for Salesforce」 「GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行」

2. ワーク「GMOサイン連携（[帳票名]） ②GMOサインへの送信後に実行するワーク」

- エンベロープ「②GMOサイン連携（[帳票名]）」
 - サービス「ダミー文書」 「Salesforce Files [配送] - セッション」

3. ワーク「GMOサイン連携（[帳票名]） ③署名完了後に実行するワーク」

- エンベロープ「③GMOサイン連携（[帳票名]）」
 - サービス「アップロード文書」 「Salesforce Files [配送]」

A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping each other.

サービスの設定<配送>

- ・ GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行
- ・ ②Salesforce Files [配送] - セッション
- ・ ③Salesforce Files [配送]

【サービス】 GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されている

名称	メモ
<input type="checkbox"/> GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携 アップロー...書（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【サービス】 GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）

サービスの設定

名称

GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）

メモ

配布用サンプルです。

GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行

GMOサイン

へ文書を送信します。署名の完了をもって配送の完了とします。
署名が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

D3Workerが署名完了の通知を受け取るために、**GMOサイン**に以下のURLを設定する必要があります。

https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_tsdemo/service/gmo_sign/callback

文書のうちPDFだけを用います。
ただし、署名も送付もしない文書は処理されません。

接続情報

エンドポイント

https://api.gmosign.com/agree-api/v0/api/
通常は指定する必要はありません。

シークレットキー

顧客ID

☐ シークレットキーと顧客IDのエンベロップでの変更を許可する

接続の確認

GMOサイン社に依頼する事項

- サービス内に記載のURL（https://～/callback）をGMOサインに登録することでGMOサインと連動できます。作業はGMOサイン社で行っていただけますので、ご担当者にご依頼ください。

【サービス】GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）

サービスの設定

名称	GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）
メモ	配布用サンプルです。

GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行

GMOサインへ文書を送信します。署名の完了をもって配送の完了とします。
署名が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

D3Workerが署名完了の通知を受け取るために、GMOサインに以下のURLを設定する必要があります。

`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_tsdemo/service/gmo_sign/callback`

文書のうちPDFだけを用います。
ただし、署名も送付もしない文書は処理されません。

接続情報

エンドポイント	https://api.gmosign.com/agree-api/v0/api/ 通常は指定する必要はありません。
シークレットキー	
顧客ID	

☐ シークレットキーと顧客IDのエンベロップでの変更を許可する

接続の確認

サービスを保存後、接続ができることを確認してください。

1. 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. シークレットキー*

- GMOサインから送付される認証情報内に記載があります。不明な場合はGMOサイン社にお問い合わせください。
- オプロ経由でGMOサインの契約をしている場合は弊社からお送りする認証情報内に記載がございます。

4. 顧客ID*

- 同上

【サービス】GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）

基本情報

担当者	※鈴木一郎※
担当者所属	※会社名 部署名など※
封筒名	※[帳票名]をいれる※
不達メール通知先	
署名順	なし 署名順を設定しません。

担当者*

- 差出人を入力してください。
- GMOサインの署名依頼メール内に差出人として記載がされます。

担当者所属

- GMOサインの署名依頼メール内に差出人として記載がされます。

封筒名*

- 文書名をいれてください。タイトルのような扱いです。

株式会社オプロ様より株式会社かみくら御中_検収書への署名依頼が届いています

{担当者所属}

電子印鑑なら
GMOサイン

株式会社かみくら
上倉 健 様

株式会社オプロ 鈴木市郎様より文書への電子署名依頼が届いております。

文書を確認するボタンより、文書に電子署名を行ってください。

鈴木市郎様より

■アクセスコード：1234

文書を確認する

{担当者所属} {担当者}

GMOサインの署名依頼メール

【サービス】GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）

自社署名

ワークの実行時に、[メール]に値があるもののみが処理されます。
[ワーク実行時]に署名しない場合は、署名完了の通知を受け取るか、期限まで待機し
[ワーク実行時]に署名しない場合にのみ、[テキスト入力]と[チェックボックス]が処理されま

画像添付を使用するには、GMOサインのオプション契約が必要です。

1人分の設定

追加する場合は + ボタン

署名方法 メール コメント

1 契約印タイプ [] [] []

依頼メール 送信する [] 画像添付 なし [] 署名者変更 許可しない []

アクセスコード []

署名する文書 先頭 [] [] 署名しない文書を送付する []

署名位置 [] 不可視 ページ 1 左 0 下 0 右 100 上 100 ワーク実行時 署名しない []

署名画像 [] 署名に登録済み画像を用いる場合に指定します。

テキスト入力

[タグ]に値があるもののみが処理されます。
[署名完了後に実行するワーク]の[データCSV]の値に [タグに指定した値] を指定すると、署名時に入力されたテキストが
用いられます。

タグ	ページ	左	下	右	上	必須	プレースホルダ	+	×
1	1	0	0	100	100	[]	[]	+	×

チェックボックス

[タグ]に値があるもののみが処理されます。
[署名完了後に実行するワーク]の[データCSV]の値に [タグに指定した値] を指定すると、署名時にチェックされていれば
「true」が、チェックされていない場合は「false」が用いられます。

タグ	ページ	左	下	右	上	状態	+	×
1	1	0	0	100	100	[]	+	×

1. 自社署名

- 自社の人による署名を複数名行う場合は、右上の + ボタンで人数分追加してください。
 - ※人数固定
 - はじめて設定される場合は追加せずそのままご設定ください。
- 自社署名のご要件がない場合はそのままにしてください。
- 署名位置以外はエンベロープ内で設定しますので、空欄のままでも問題ありません。

2. 署名位置

- 署名位置の座標を指定します。座標についての説明は以下の記事をご覧ください。
- [D3Workerのサービス設定（GMOサイン - 署名待機ワーク実行）](#)

【サービス】GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）

1. 送信先*

- 他社の方向けの署名欄です。複数名を想定される場合は右上の+ボタンで人数分追加してください。
 - ※人数固定
 - はじめて設定される場合は追加せずそのままご設定ください。
- 署名位置以外はエンベロープ内で設定しますので、空欄のままで問題ありません。

2. 署名位置

- 署名位置の座標を指定します。座標についての説明は以下の記事をご覧ください。
- [D3Workerのサービス設定（GMOサイン - 署名待機ワーク実行）](#)

送信先

ワークの実行時に、[氏名]と[メールまたはSMS番号]に値があるもののみが処理されます。
[ワーク実行時]に署名しない場合は、署名完了の通知を受け取るか、期限まで待機します。
[ワーク実行時]に署名しない場合にのみ、[テキスト入力]と[チェックボックス]が処理されます。

1人分の設定

追加する場合は+ボタン

対面署名、画像添付、SMS番号を使用するには、GMOサインのオプション契約が必要です。

署名方法	会社名/組織名	氏名	メールまたはSMS番号
1 契約印タイプ			

依頼メール 送信する ☐ 画像添付 なし ☐ 署名者変更 許可しない ☐

アクセスコード

署名する文書 先頭 ☐ 署名しない文書を送付する ☒

署名位置 ☐ 不可視 ページ 1 左 0 下 0 右 100 上 100 ワーク実行時 署名しない ☐

署名画像

署名に登録済み画像を用いる場合に指定します。

テキスト入力

[タグ]に値があるもののみが処理されます。
[署名完了後に実行するワーク]の[データCSV]の値に [タグに指定した値] を指定すると、署名時に入力されたテキストが用いられます。

タグ	ページ	左	下	右	上	必須	プレースホルダ
1		1	0	0	100	100	<input type="checkbox"/>

チェックボックス

[タグ]に値があるもののみが処理されます。
[署名完了後に実行するワーク]の[データCSV]の値に [タグに指定した値] を指定すると、署名時にチェックされている場合は「true」が、チェックされていない場合は「false」が用いられます。

タグ	ページ	左	下	右	上	状態
1		1	0	0	100	100 <input type="checkbox"/>

【サービス】 ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索 サービス

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されている

名称	メモ
<input type="checkbox"/> GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【サービス】 ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]）

サービスの設定

名称	GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]）
メモ	配布用のひな型です。

1. 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. 項目*

- ②はGMOサインにリクエストを送った後に更新したいSalesforceの項目のAPI参照名を入力します。
 - オプロ→GMOサインのタイミングとなり、署名完了はしていない状態のことです。

項目

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	x
※更新したい項目のAPI参照名を※		x
※入力してください※		x
※不要な項目は※		x

項目の値は、エンベロープで設定します。

☒ 値が空白の項目を無視する

実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。
チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない

【サービス】 ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送]（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索 サービス

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されている

名称	メモ
<input type="checkbox"/> GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]）[2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]）[2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]）[2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送]（[帳票名]）[2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送]（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【サービス】 ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送]（[帳票名]）

4. 項目*

- ③はGMOサインの署名完了後に更新したいSalesforceの項目のAPI参照名を入力します。

サービスの設定	
名称	GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]）
メモ	配布用のひな型です。

項目	
項目の値は、エンベロープで設定します。	
API参照名	+ ×
※更新したい項目のAPI参照名を※	×
※入力してください※	×
※不要な項目は※	×
項目の値は、エンベロープで設定します。	
API参照名	+ ×
Status__c	×
+ ×	
<input checked="" type="checkbox"/> 値が空白の項目を無視する	
実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。 チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない	

A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping each other.

サービスの設定<文書化>

- ・ OPROARTS Live for Salesforce
- ・ ダミー文書
- ・ アップロード文書

【サービス】 GMOサイン連携 OPROARTS Live for Salesforce （[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索 サービス

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されている

名称	メモ
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携 OPROARTS Live for Salesforce （[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携 アップロード文書 （[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション （[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション （[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行 （[帳票名]）	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「GMOサイン連携 OPROARTS Live for Salesforce （[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【サービス】GMOサイン連携 OPROARTS Live for Salesforce（[帳票名]）

サービスの設定	
名称	GMOサイン連携（[帳票名]） OPROARTS Live for Salesforce
メモ	配布用サンプルです。

OPROARTS Live for Salesforce	
基本情報	
URL	<input type="text" value="https://www.oproarts.com/liveffb/action"/> 通常に変更する必要はありません。
Salesforceの接続	
セッションID	リクエスト内容 出力形式 <input type="text" value="PDF"/>
ユーザーID	出力するオブジェクトID <input type="text"/> カンマ区切りで複数のオブジェクトIDを指定できます。
組織ID	文書の結合 <input type="text" value="結合しない"/> 複数のオブジェクトIDが指定された場合に、オブジェクトごとの文書を結合した一つの文書を作成するかど 「結合しない」場合は、オブジェクトごとの文書が一つのZIPにまとめられます。 [出力形式]が「エクセル」の場合は、指定にかかわらず「結合しない」として扱われます。
Partner API URL	オブジェクトへの添付 <input type="text" value="添付しない"/> 作成された文書をオブジェクトに添付するかどうかを指定します。添付できないオブジェクトの場合は「添付しない」を選択してください。
OPROARTSキー	活動履歴への登録 <input type="text" value="登録する"/> 文書を作成したタイミングで活動履歴を登録するかどうかを指定します。活動履歴を登録できないオブジェクトの場合は「登録しない」を選択してください。
OPROARTSオブジェクト名前空間プレフィックス	件名 <input type="text" value="請求書の配信"/> コメント <input type="text" value="請求書を配信しました。"/>

1. 名称*

1. [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。
名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

1. 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. 基本情報欄

1. 変更なし ※エンベロップで指定します。

4. リクエスト内容欄

1. 変更なし ※エンベロップで指定します。

項目の解説は以下のOPSS記事をご覧ください。

[D3Workerのサービス設定（Connector for Salesforce連携）](#)

【サービス】GMOサイン連携 ダミー文書（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索 サービス

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されている

名称	メモ
<input type="checkbox"/> GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携 ダミー文書（[帳票名]）	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「GMOサイン連携 ダミー文書（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【サービス】GMOサイン連携 ダミー文書（[帳票名]）

サービスの設定	
名称	②GMOサイン連携 ダミー文書（[帳票名]）
メモ	配布用のひな型です。
ダミー文書	
一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。 文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。 このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。	

1. 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

【サービス】 GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索 サービス

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されている

名称	メモ
<input type="checkbox"/> GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]） [2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Sal

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【サービス】GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]）

サービスの設定	
名称	GMOサイン連携 アップロード文書（[帳票名]）
メモ	配布用のひな型です。

アップロード文書	
ワークの実行時にアップロードされたファイルまたは送信されたテキストを、文書として用いる文書化サービスです。 このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。	
リクエストパラメータ	file 文書ファイルまたはテキストをD3Workerへ送信する際のHTTPリクエストパラメータ名を指定します
文書名	 アップロードされたファイル名よりも優先して用いられます。テキストが送信された場合の文書名とし

アップロードファイル	
ZIPファイルの場合	解凍しない [アーカイブ順で解凍する][名前順で解凍する]を選択した場合、アップロードされたZIPファイルに含 [文書名]は使用されず、ZIPファイル内のファイル名が使用されます。

テキストデータ	
文字コード	シフトJIS 送信されたテキストを文書化する際の文字コードを指定します。

1. 名称*

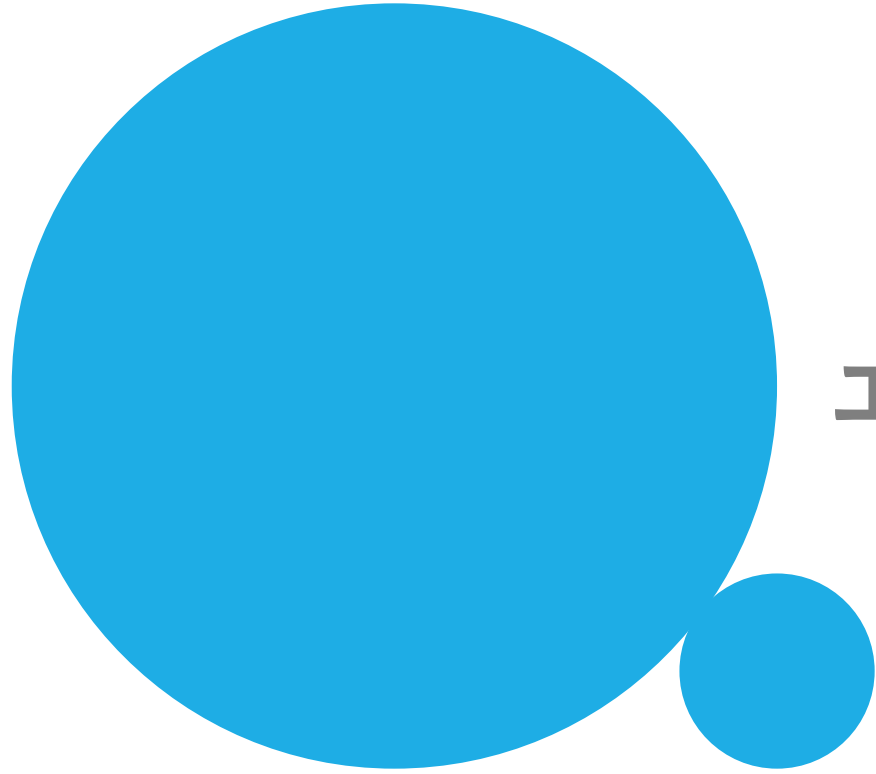
- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。
名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. リクエストパラメータ*

- 変更なし



エンベロープの設定

【エンベロープ】①GMOサイン連携（[帳票名]）

ワーク **エンベロープ** サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

検索

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベ

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ①GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「①GMOサイン連携（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】 「基本」 タブ

The screenshot shows a web interface for managing envelopes. At the top, there are five tabs: '基本' (Basic), '属性' (Attributes), '文書化サービス' (Document Service), '保管サービス' (Storage Service), and '配送サービス' (Delivery Service). The '基本' tab is selected. Below the tabs, a yellow warning box states: 'ワークで使用されているエンベロープです。変更する際はご注意ください。' (This is an envelope being used in work. Please be careful when making changes.). The form has three main sections: 1. '名称' (Name) with a text input field containing '①GMOサイン連携（[帳票名]）'. 2. 'メモ' (Memo) with a larger text area containing '配布用のひな型です。' (This is a template for distribution.). 3. '件名' (Subject) with a text input field containing 'GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO' and a '編集' (Edit) button to its right.

「基本」 タブ

- 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

- メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

- 件名

- ログに出てくる情報です。

【エンベロープ】 {○○}について ※重要※

● {○○}について ※重要

- Salesforceの項目を差し込むタグです。
D3Workerでは「パラメータ」と呼称しています。すでに設定されているパラメータは必須項目のため削除/変更しないでください。
- エンベロープでは、Salesforceから差し込む項目の位置をパラメータを使って指定しています。
 - ※「サービス」ではパラメータを使用できません。

署名方法	メール	コメント
1 契約印タイプ	{自社担当者メール} 編集	サービスの設定を用いる 編集
依頼メール	送信する	画像添付 なし
署名	ワーク実行時	サービスの設定を用いる
署名画像	サービスの設定を用いる	

{○○} (パラメータ)
Salesforceのデータを差し込む

【エンベロープ】「文書化サービス」タブ

選択済みの文書化サービス

GMOサイン連携 OPROARTS Live for Salesforce ([帳票名])

Salesforceの接続情報

セッションID	{セッションID}	編集
ユーザーID	{ユーザID}	編集
組織ID	{組織ID}	編集
Partner API URL	{Partner API URL}	編集
OPROARTSキー	サービスの設定を用いる	編集
OPROARTSオブジェクト名前空間プレフィクス	サービスの設定を用いる	編集

リクエスト内容

ここでエンベロープパラメータを使用すると、一つのエンベロープで複数の文書が作成される場合は、文書化ごとにエンベ

出力形式	PDF	
出力するオブジェクトID	{recordId}	編集
カンマ区切りで複数のオブジェクトIDを指定できます。		
文書の結合	サービスの設定を用いる	
複数のオブジェクトIDが指定された場合に、オブジェクトごとの文書を結合した一つの文書を作成する場合は、「結合しない」場合は、オブジェクトごとの文書が一つのZIPにまとめられます。 [出力形式]が「エクセル」の場合は、指定にかかわらず「結合しない」として扱われます。 [文書の結合]が「結合する」、[オブジェクトへの添付]が「添付する」の場合で、複数のオブジェクトごとの文書（添付用） ・結合された文書の両方が作成され、両方が課金対象としてカウントされます。		
オブジェクトへの添付	サービスの設定を用いる	
作成された文書をオブジェクトに添付するかどうかを指定します。添付できないオブジェクトの場合は「結合しない」として扱われます。		
活動履歴への登録	サービスの設定を用いる	
文書を作成したタイミングで活動履歴を登録するかどうかを指定します。活動履歴を登録できない場合は「結合しない」として扱われます。		
件名	サービスの設定を用いる	編集
コメント	サービスの設定を用いる	編集

- 「文書化サービス」タブはサービスの「OPROARTS Live for Salesforce」を参照しています。
- すでに登録してあるパラメータは変更・削除しないでください。
- 「サービスの設定を用いる」とある箇所はご要件に応じて変更してください。

【エンベロープ】「配送サービス」タブ

配送サービス

変更する際はご注意ください。

選択済みの配送サービス

GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行 ▼

自社署名

ワークの実行時に、[メール]に値があるもののみが処理されます。
[ワーク実行時]に署名しない場合は、署名完了の通知を受け取るか、期限まで待機します。

画像添付を使用するには、GMOサインのオプション契約が必要です。

署名方法	メール	コメント
1 契約印タイプ ▼	{自社担当者メール} 編集	サービスの設定を用いる 編集
依頼メール	送信する ▼	画像添付 なし ▼
署名者変更	許可する ▼	
アクセスコード	サービスの設定を用いる 編集	
署名	ワーク実行時 サービスの設定を用いる ▼	
署名画像	サービスの設定を用いる 編集	署名に登録済み画像を用いる場合に指定します。

送信先

ワークの実行時に、[氏名]と[メールまたはSMS番号]に値があるもののみが処理されます。
[ワーク実行時]に署名しない場合は、署名完了の通知を受け取るか、期限まで待機します。

対面署名、画像添付、SMS番号を使用するには、GMOサインのオプション契約が必要です。

署名方法	会社名/組織名	氏名	メールまたはSMS番号
1 契約印タイプ ▼	{送信先会社名} 編集	{送信先氏名} 編集	{送信先アドレス} 編集
依頼メール	送信する ▼	画像添付 なし ▼	署名者変更 許可する ▼
アクセスコード	サービスの設定を用いる 編集		
署名	ワーク実行時 サービスの設定を用いる ▼		
署名画像	サービスの設定を用いる 編集	署名に登録済み画像を用いる場合に指定します。	

- 「配送」サービスタブでは「GMOサイン複数文書 - 署名待機/ワーク実行」を参照しています。
- すでに登録してあるパラメータは基本的には変更・削除しないでください。
 - 「自社署名」は任意ですので、不要な場合はパラメータを削除いただいて結構です。

【エンベロープ】 「配送サービス」 タブ

GMOサインへの送信後に実行するワーク

実行するワーク GMOサイン連携（[帳票名]） ②GMOサインへの送信後に実行するワーク 編集

データCSV フィールド値に [{\$SERVICE.ID}] を指定すると、GMOサインのトランザクションIDが利用

フィールド値	
1	{Partner API URL} 編集
2	{recordId} 編集
3	{セッションID} 編集
4	{ユーザID} 編集
5	{組織ID}
6	{送信先アドレス}
7	{送信先会社名}
8	{送信先氏名}

GMOサイン連携（[帳票名]） ②GMOサインへの送信後に実行するワーク

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード シフトJIS
先頭行 ☐ データとして使用しない

フィールド

フィールド名	+	×
1 Partner API URL	▼	×
2 recordId	▲▼	×
3 セッションID	▲▼	×
4 ユーザID	▲▼	×
5 組織ID	▲▼	×
6 送信先アドレス	▲▼	×
7 送信先会社名	▲▼	×
8 送信先氏名	▲	×

次に実行されるワークの
データソースとイコールに
なる。
順番も同じにします。

GMOサインへの送信後に実行するワーク

- GMOサインへリクエストを送った後に実行するワークを指定しています。
- データCSV
 - 「実行するワーク」の「データソース」に引き渡すデータをここで指定する必要があります。
 - 「GMOサイン連携（[帳票名]） ②GMOサインへの送信後に実行するワーク」のデータソースにフィールドを追加した場合、同じようにデータCSVを追加してください。

【エンベロープ】「配送サービス」タブ

署名完了後に実行するワーク

- GMOサインから署名完了のフラグを受け取った後に実行するワークを指定しています。

● データCSV

- 「実行するワーク」の「データソース」に引き渡すデータをここで指定する必要があります。
- 「GMOサイン連携（[帳票名]）③署名完了後に実行するワーク」のデータソースにフィールドを追加した場合、同じようにデータCSVを追加してください。

次に実行されるワークのデータソースとイコールになる。
順番も同じにします。

署名完了後に実行するワーク

実行するワーク: GMOサイン連携（[帳票名]） ③署名完了後に実行するワーク [編集]

ファイルのパラメータ名: file [編集]

署名済みの文書を渡すパラメータ名を指定します。
パラメータ名が指定されていない場合はファイルは渡されません。

☐ ワーク実行後にGMOサインに登録した文書を削除する ☒ 削除しない ☐ サービスの設定

パラメータ名が指定され、ワークの実行要求が正常に行われた場合にのみ文書を削除します。

データCSV

フィールド値に [{\$SERVICE.ID}] を指定すると、GMOサインのトランザクションIDが用いられます。

フィールド値に [{\$SIGNING_TIME}] を指定すると、最終の署名日時 (yyyy-mm-ddThh:mm:ss) が用いられます。

フィールド値	
1 {Partner API URL}	[編集]
2 {recordId}	[編集]
3 {セッションID}	
4 {ユーザID}	
5 {組織ID}	
6 {送信先アドレス}	
7 {送信先会社名}	

GMOサイン連携（[帳票名]） ③署名完了後に実行するワーク

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード: シフトJIS

先頭行: ☐ データとして使用しない

フィールド

フィールド名		+	×
1 Partner API URL		▼	×
2 recordId		▲▼	×
3 セッションID		▲▼	×
4 ユーザID		▲▼	×
5 組織ID		▲▼	×
6 送信先アドレス		▲▼	×
7 送信先会社名		▲▼	×
8 送信先氏名		▲	×

CSVを取得

【エンベロープ】 ②GMOサイン連携（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

検索

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベ

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ①GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「②GMOサイン連携（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】 「配送サービス」 タブ

サービス 配送サービス エンベロープ [②GMOサイン連携 ([帳票名])] 4

更新の際はご注意ください。

選択済みの配送サービス

②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送]

オブジェクト

オブジェクトのAPI参照名 ※更新するオブジェクトのAPI参照名を入力※ 編集

API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID {recordId} 編集 ☐ SOQL

レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイルを添付します。
レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。

[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付 ☐ する ☐ Attachmentにする ☒ しない ☐ サービスの設定を用いる

添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。
Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名 値

status__c 電子契約送信済み 編集 ☐ SOQL

「サービス」で入力したAPI参照名

・更新したい値
・固定値ならそのまま入力
・変数ならパラメータ({○○})として指定

- 配送サービスタブの項目を設定します。
- 「サービス」の「②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション ([帳票名])」で設定した、更新したいAPI参照名に対してどのような値をいれるかをここで設定します。
 - 固定値の場合はそのまま入力します。
 - 変数にする場合はパラメータを指定してください。

【エンベロープ】 ③GMOサイン連携（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

検索

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベ

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ①GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ②GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> ③GMOサイン連携（[帳票名]）	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「③GMOサイン連携（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】 「配送サービス」 タブ

サービス 配送サービス エンベロープ [②GMOサイン連携 ([帳票名])] 編集

更新の際はご注意ください。

選択済みの配送サービス

②GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] 配送

オブジェクト

オブジェクトのAPI参照名 ※更新するオブジェクトのAPI参照名を入力※ 編集

API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID {recordId} 編集 ☐ SOQL

レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイルを添付します。
レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。

[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付 ☐ する ☐ Attachmentにする ☒ しない ☐ サービスの設定を用いる

添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。
Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

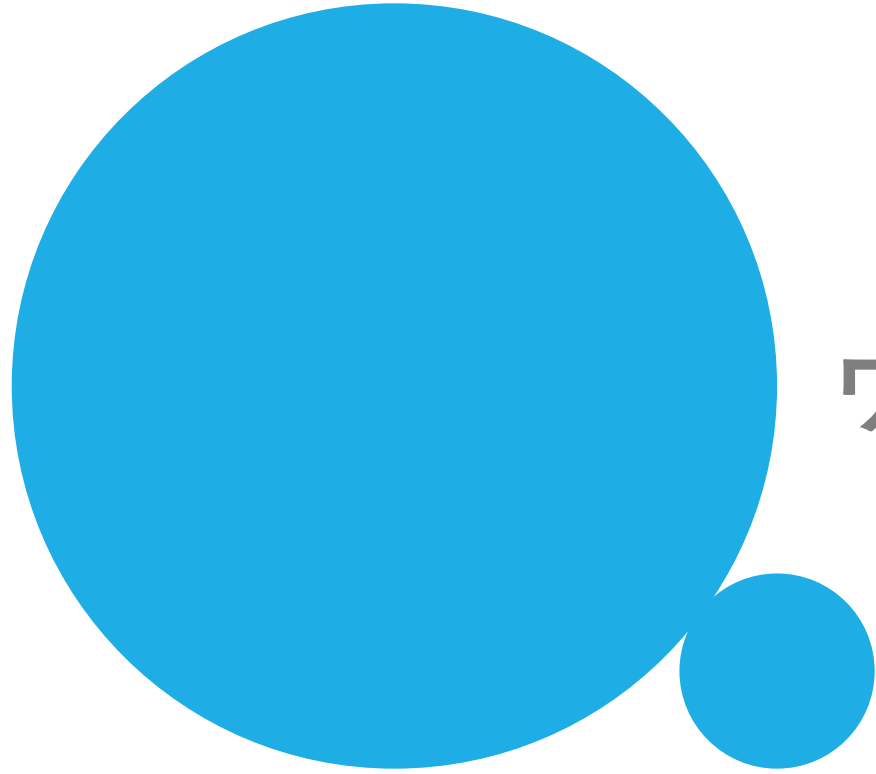
[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名	値
status__c	締結済み 編集 <input type="checkbox"/> SOQL

「サービス」で入力したAPI参照名

- ・更新したい値
- ・固定値ならそのまま入力
- ・変数ならパラメータ ({○○}) として指定

- 配送サービスタブの項目を設定します。
- 「サービス」の「③GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] ([帳票名])」で設定した、更新したいAPI参照名に対してどのような値をいれるかをここで設定します。
 - 固定値の場合はそのまま入力します。
 - 変数にする場合はパラメータを指定してください。



ワークの設定

【ワーク】 GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO

ワーク エンベロープ サービス ?

D³Workerは、データを取得し、その内容にしたがって文書化や配送などを行う様々なサービスの一連の動作を記述するのがワークです。D³Workerはワークを実行することで動作します。ワークでは、

- 取得するデータの定義
- サービスの集合であるエンベロープの指定と、そのパラメータとデータとのマッピング
- データを文書化する際の、文書とデータとのマッピング

を行います。

新規作成 ワークを新規に作成します。 インポート ファイルからワークをインポート

作成済みのワーク

検索 ワークの検索

検索結果の[設定]でワークの設定画面を表示します。
[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエクスポートができます。

名称	メモ
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） ②GMOサインへの送信後に実行するワーク	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） ③署名完了後に実行するワーク	配布用のひな型です。

1. 「ワーク」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたワークが表示されます。
2. 「GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO」をダブルクリックで開きます。

【ワーク】 「基本」 タブ

基本	データソース	エンベロープ	文書とデータのマッピング
名称	GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO		
メモ	配布用のひな型です。		
件名	GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO		編集

- 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

- メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

- 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

【ワーク】「データソース」タブ

基本

データソース

エンベロープ

文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード

シフトJIS

先頭行

☐ データとして使用しない

フィールド

	フィールド名	+	×
1	Partner API URL	▼	×
2	recordId	▲▼	×
3	セッションID	▲▼	×
4	ユーザID	▲▼	×
5	組織ID	▲▼	×
6	自社担当者メール	▲▼	×
7	送信先アドレス	▲▼	×
8	送信先会社名	▲▼	×
9	送信先氏名	▲	×
	CSVを取得	+	×

● フィールド名* ※重要

- Salesforceから受け取る項目を定義しています。
ここに定義されているフィールド（データ）が
後続のエンベロープに流れていくイメージです。
- 実際のデータの指定（オブジェクト名・項目名
等）は、帳票DX for Salesforceで行います。
ここでは受け取る箱となるフィールド名のみの
定義となります。
- エンベロープでパラメータを追加した場合は、
紐づけるフィールド名をここに追加します。

【ワーク】 「データソース」 タブ

8	※※契約書に※※	▲ ▼ ×
9	※※表示する※※	▲ ▼ ×
10	※※項目を入力してください※※	▲ ▼ ×

CSVを取得

新規追加

● 帳票に必要なフィールドを追加する

- 適宜帳票テンプレートのフィールドに使用しているフィールド名を追加してください。

oproarts

帳票DX

CSV 定義

区切り記号付き
フィールド区切り記号
文字列の引用符
☐ 先頭行を無視する
☐ データ出力条件

このフィールド名をデータソースに追加する

フィールド名	データタイプ	形式
会社名_請求先	ext	
見積番号	ext	
注文番号	ext	
請求番号	ext	
郵便番号_請求先	ext	
住所 都道府県 請求先	ext	

追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

帳票DX

要素 レイヤー データセット

データセット +

- Dataset1
 - 見積番号
 - 取引先名
 - 取引先住所
 - 郵便番号
 - 合計金額
 - 税額
 - 小計
 - 備考
- Dataset2
 - 製品コード
 - 明細

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ



エンベロープ 文書とデータのマッピング

recordId ▼
☐ ソートする

選択済みのエンベロープ

① GMOサイン連携 ([帳票名])

アクティブ化するフィールド
エンベロープフィールド ▼

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値	
{ Partner API URL }	[Partner API URL] 編集
{ recordId }	[recordId] 編集
{ セッションID }	[セッションID] 編集
{ ユーザID }	[ユーザID] 編集
{ 組織ID }	[組織ID] 編集
{ 自社担当者メール }	[自社担当者メール] 編集
{ 送信先アドレス }	[送信先アドレス] 編集
{ 送信先会社名 }	[送信先会社名] 編集
{ 送信先氏名 }	[送信先氏名] 編集

- このワークで使用するエンベロープを紐づけています。サンプルでは設定済みです。
- エンベロープで作成したパラメータにどのデータを引き渡すのか紐づけをしています。データソースのフィールドを紐づける必要があります。
 - エンベロープで新しくパラメータを作成した場合は、データソースにフィールドを追加の上紐づけを行ってください。
(次ページ説明)

【ワーク】 「エンベロップ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

エンベロップ> 設定

氏名	メールまたはSMS番号
{受領者 氏名}	{受領者 メールアドレス}
編集	編集

パラメータを新規追加

パラメータの紐づけ方

1. 「エンベロップ」の中で{〇〇}（パラメータ）を作成すると、ワークのエンベロップにも追加されます。

ワーク> エンベロップ

① CRMシステム連携（[帳票名]）

アクティブ化するフィールド	エンベロップフィールド
アクティブ化するフィールド値	
<input checked="" type="checkbox"/> ELSEとして使用する	

エンベロップパラメータの値	
{Partner API URL}	[Partner API URL] 編集
{recordId}	[recordId] 編集
{セッションID}	[セッションID] 編集
{ユーザID}	[ユーザID] 編集
{受領者 メールアドレス}	編集
{受領者 氏名}	編集
{組織ID}	[組織ID] 編集
{自社担当者メール}	[自社担当者メール] 編集
{送信先アドレス}	[送信先アドレス] 編集
{送信先会社名}	[送信先会社名] 編集
{送信先氏名}	[送信先氏名] 編集

追加されている

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

ワーク>エンベロープ

{セッションID}		編集
{ユーザID}	[ユーザID]	編集
{受領者 メールアドレス}		編集
{受領者 氏名}		編集
{組織ID}	[組織ID]	編集

編集をクリック

編集



エンベロープパラメータ {受領者 メールアドレス}

利用可能な変数

リクエストパラメータ 新規パラメータ {受領者 氏名}	データソース 自社担当者メール 送信先アドレス 送信先会社名 送信先氏名 受領者 メールアドレス	システム変数 ジョブID データソースの行番号
-----------------------------------	---	-------------------------------

エンベロープパラメータ {受領者 メールアドレス}

[受領者 メールアドレス]

追加される

ダブルクリック

OK キャンセル

パラメータの紐づけ方

1. パラメータの「編集」をクリックします。
2. 「データソース」欄にあるフィールド名から紐づけたいフィールドをダブルクリックします。
 1. ダブルクリックすると、下枠の「エンベロープパラメータ」に[〇〇]と入力されます。
 2. 紐づけたいフィールドが存在しない場合は「データソース」にフィールドを追加しているか確認してください。
3. OKをクリックします。

【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

The screenshot shows a web application interface with a tabbed menu at the top containing '基本', 'データソース', 'エンベロープ', and '文書とデータのマッピング'. The '文書とデータのマッピング' tab is active. Below the tabs, there are three main sections: '文書名', 'テンプレート', and 'マッピング'. The '文書名' section has a text input field with the placeholder '※ファイル命名規則を入力※' and an '編集' button. The 'テンプレート' section has a 'テンプレート名' input field with the placeholder '※ここにテンプレート名を入力※' and an '編集' button, followed by a checkbox labeled 'フォントの埋め込みを指示する'. Below that is a '切り替えフィールド' dropdown menu. The 'マッピング' section contains a button labeled 'データセットの追加'.

- 文書名

- 帳票のファイル名の命名規則です。
- 編集ボタンから、データソースと固定文言を組み合わせて指定することができます。
- 例：[取引先名]様向け請求書_[TODAY]

- テンプレート名*

- 使用するテンプレート名を入力してください。

【ワーク】 「文書とデータのマッピング」 タブ

マッピング

データセットの追加

データセット1

データセットのフィールド値			+	×
1	[取引先名]	編集	▼	×
2	[取引先責任者]	編集	▲▼	×
3	[契約開始日]	編集	▲▼	×
4	[契約終了日]	編集	▲▼	×
5	※※↑の項目等の書面に※※	編集	▲▼	×
6	※※配置する項目を※※	編集	▲▼	×
7	※※指定してください※※	編集	▲	×

行の制御

単一行のCSV

一括設定

追加するフィールド数

追加

データソースの全てのフィールド

設定

データセット

- 帳票テンプレートのマッピング定義と対応させます。
 - データセットの数はテンプレートに合わせて追加・削除してください。

テンプレートのデータセットと同じにする。

テンプレート

フィールドマッピング			
コンポーネント	タイプ	スタイル	データ
QuotationNumber	Label		'Q-000000
Date	Label		FORMAT_I
CustomerName	Label		Opportuni
CustomerCharge	Label		TOP(Oppo
CompanyCharge	Label		Opportuni
ProductName	Label	Discount	
ProductName	Label	デフォルト	Opportuni
UnitPrice	Label	Discount	
UnitPrice	Label	デフォルト	Opportuni
Quantity	Label	Discount	
Quantity	Label	デフォルト	Opportuni
Price	Label	Discount	
Price	Label	デフォルト	Opportuni
SubTotal	Label		SUM(Oppo
Tax	Label		SUM(Oppo

【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

マッピング

データセットの追加

データセット1

データセットのフィールド値	編集	+	×
1 [取引先名]	編集	▼	×
2 [取引先責任者]	編集	▲▼	×
3 [契約開始日]	編集	▲▼	×
4 [契約終了日]	編集	▲▼	×
5 ※※↑の項目等の書面に※※	編集	▲▼	×
6 ※※配置する項目を※※	編集	▲▼	×
7 ※※指定してください※※	編集	▲	×

行の制御 単一行のCSV

一括設定

追加するフィールド数 追加

データソースの全てのフィールド 設定

データセット

● フィールドの追加方法

- 「編集」 ボタンからデータソースのフィールドを追加してください。
- []で括られていればOK
- 一括設定から一括で入れて不要なフィールドを削除していくのが効率的です。
- 順番もテンプレートと同じにしてください。

フィールド8

利用可能な変数

リクエストパラメータ
新規パラメータ

データソース
金額
※※帳票に必要な※※
※※項目を※※
※※ここに※※
※※追加してください※※

エンベロープ情報
件名
属性1
属性2
属性3
属性4

システム変数
ジョブID
データソースの行番号
データセットの行番号

フィールド8
[※※帳票に必要な※※]

ダブルクリック

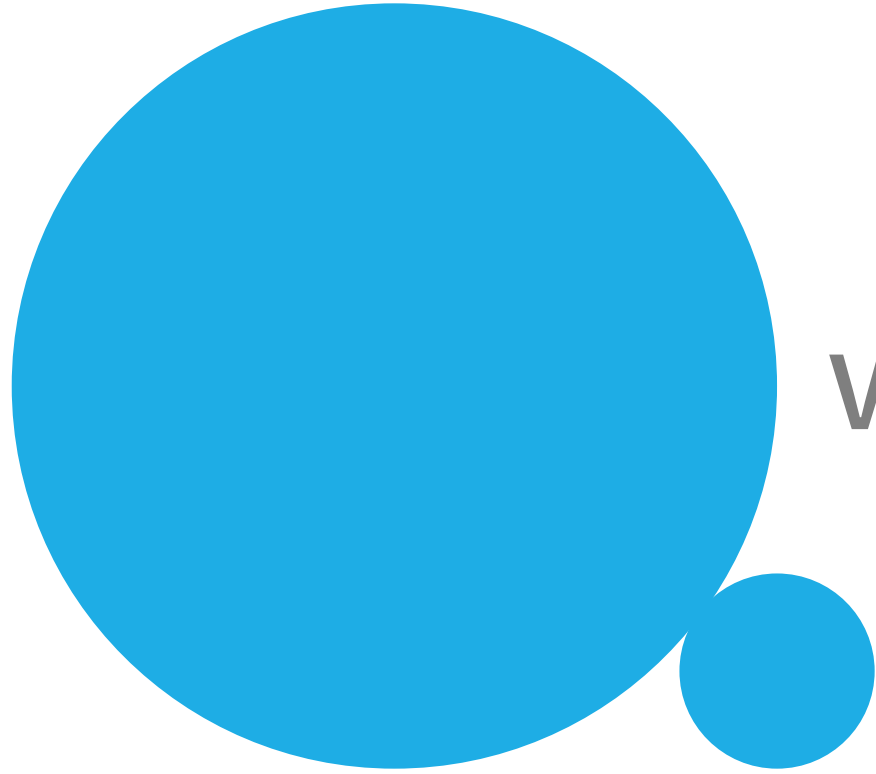
[]で括られればOK

OK キャンセル

D3Workerの検証

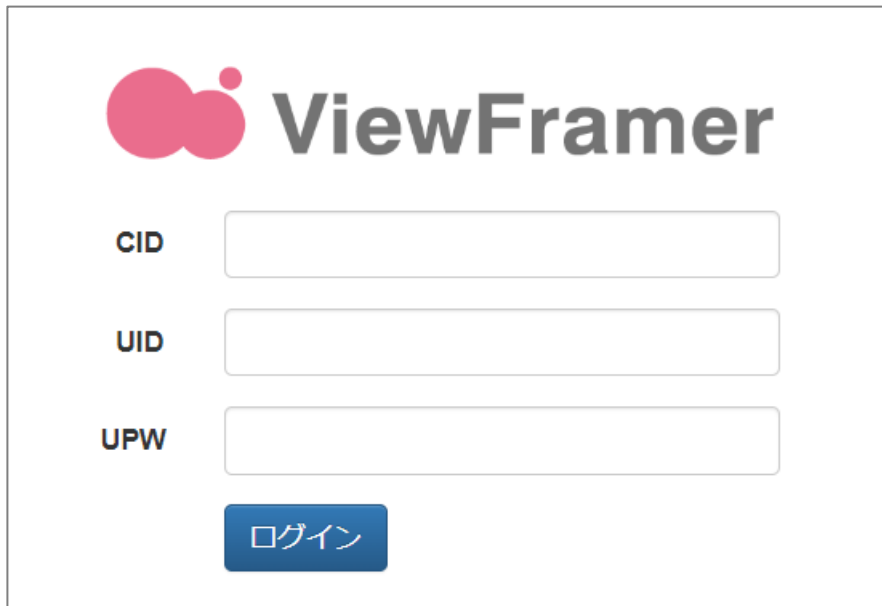
名称	メモ	
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） ①SFDC→GMO[2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Salesforce）.d3w	検査 設定 コピー
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） ②GMOサインへの送信後に実行するワーク[2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Salesforce）.d3w	検査 設定 コピー
<input type="checkbox"/> GMOサイン連携（[帳票名]） ③署名完了後に実行するワーク[2]	配布サンプル GMOサイン連携サンプル設定（帳票DX for Salesforce）.d3w	検査 設定 コピー

- 最後にワークの検証を行い、設定漏れがないかを確認します。
- 「ワーク」タブで、検査を行うワークの右にある「検査」をクリックします。
- OK：「実行可能な状況です」と表示されます。
- NG：どこの設定が不足しているか表示されます。
 - 「サービス」の「GMOサイン」の認証ができていない可能性があります。ユーザーIDとセキュリティトークンをご確認ください。



ViewFramerの設定

ViewFramerのログイン

The image shows a login form for ViewFramer. At the top left is the ViewFramer logo, which consists of two overlapping pink circles followed by the text "ViewFramer" in a bold, dark grey sans-serif font. Below the logo are three input fields, each with a label to its left: "CID", "UID", and "UPW". Each label is in a bold, dark grey sans-serif font. The input fields are rectangular with a light grey border and a subtle drop shadow. At the bottom of the form is a blue rectangular button with the white text "ログイン" (Login) in a sans-serif font.

ViewFramer

CID

UID

UPW

ログイン

- ブラウザでViewFramerにログインします。
 - https://vfui.ap.oproarts.com/view_framer_ui
- ViewFramerのログインには認証情報の「LAD（デザイナー用）」用UID・UPWを使用します。
 - D3WorkerのUID・UPWとは別なのでご注意ください。

設定ファイルをインポートする



1. 「マッピング」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で「GMOSign_oproarts_sample.mapping」をアップロードします。
 1. マッピング名は英数字アンダーバーで指定可能です。
3. 設定ファイルがインポートできました。

ビューの編集を許可する

GMO_oproarts_sample_Import202309131522 未配備 Salesforce

マッピング : 定義 (編集)

マッピング名
GMO_oproarts_sample_Import202309131522

タグ (Enterキーで確定)

タイプ
単票型

ビューの編集を許可する
☒

主データ main


ビュー
drive_sample_Import202309131522

取得

No	項目	検索結果
----	----	------

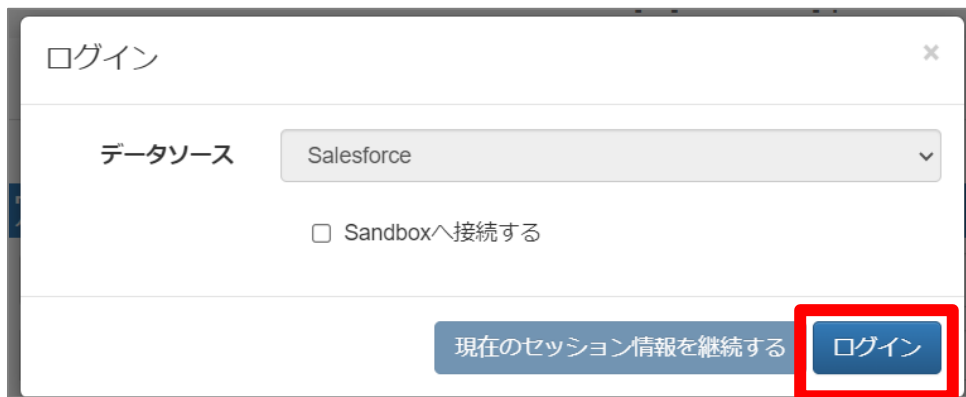
戻る 元に戻す

次へ

- インポートした設定はビュー設定の編集が許可されていないため、許可の設定を行います。
- インポートしたマッピングの編集アイコンをクリックします。
- 「ビューの編集を許可する」チェックをつけます。
- 「次へ」をクリックします。

D3Workerとの紐づけ

- Salesforceにログインをします。
- 「D3Worker」タブを開きます。



ログイン

データソース: Salesforce

☐ Sandboxへ接続する

現在のセッション情報を継続する ログイン



マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

接続情報を確認してください。

マッピング：定義 (drive_sample_import202308090934)

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

D3Worker

URL: https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/ 接続

D3Workerとの紐づけ

出力確認 Documentizer **D3Worker** CSV

D3Worker

URL 接続

ワーク (マルテン)kintoneからD3Workerを...

送信フィールド

No	Workファイル	データ
1	Quotation	main
2	Customer	main
3	Company	main

- URLにD3Workerの接続URLを入力し「接続」をクリックします。
 - <https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{お客様のテナント名}/>
- ワークのプルダウンから、前章のワーク名の①を指定してください。
 - ここに出てこない場合はD3Workerの設定が不十分です。検証を行ってください。
 - ワーク②③の指定は不要です。

D3Workerとの紐づけ

ワーク GMOサイン連携 ([帳票名]) ①S...

送信フィールド

No	Workフィールド	データ	データフィールド	画像
1	Partner API URL	main	recordId	<input type="checkbox"/>
2	recordId	main	recordId	<input type="checkbox"/>
3	セッションID	main	recordId	<input type="checkbox"/>
4	ユーザID	main	recordId	<input type="checkbox"/>
5	組織ID	main	recordId	<input type="checkbox"/>
6	自社担当者メール	main	recordId	<input type="checkbox"/>
7	送信先アドレス	main	recordId	<input type="checkbox"/>
8	送信先会社名	main	recordId	<input type="checkbox"/>
9	送信先氏名	main	recordId	<input type="checkbox"/>

自動マッピング

一覧に戻る

保存 配備

「自動マッピング」をクリックすると、Workフィールドとデータフィールド名が同名と紐づけられます。

- 「自動マッピング」をクリックしてください。
 - 「Workフィールド」がD3Workerのデータソース、「データフィールド」がViewFramerビュー定義の項目名です。これを対応させることで、ViewFramerからD3WorkerへSalesforceデータの受け渡しができます。
- 「配備」ボタンをクリックします。

ビュー設定<項目定義>

- 「ビュー」タブを開きます。
- インポートしたビュー定義を編集します。
編集アイコンをクリックします。



ビュー設定<リレーション設定>

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

ビュー：定義 (GMO_sample_Import202309131522)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 商談 [Opportunity] main_object

サンプルで商談を設定しています。
適切なオブジェクト（ボタンを置く
オブジェクト）に変更してください。

No 関連オブジェクト

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	取引先 ID	等しい(=)	0-商談 [Opportunity]	取引先 ID

* 関連オブジェクト
サンプルで取引先を紐づけています。
適宜変更してください。

1. 「リレーション設定」タブを開きます。
 - ここでは配信に必要なオブジェクトを指定します。
2. サンプルとして商談オブジェクトを起点にした設定がされています。「主オブジェクト」を実際に使用するメインオブジェクトに変更してください。
 - 主オブジェクトとは、配信ボタンを置くオブジェクトです。
 - ショートネーム（右側の{main_object}は変更しないでください）
3. 主オブジェクトの変更に伴い、関連オブジェクトの取引先のリレーションを変更してください。
 - 使用しない場合は、「-」ボタンで削除してください。
4. 適宜、必要な関連オブジェクトを追加してください。

ビュー設定<リレーション設定>

関連オブジェクトについて

- 主オブジェクトに指定したオブジェクトに紐づく参照項目先のデータを使用したい場合に設定します。
- 左の例の場合、商談Objの取引先IDで取引先Objを検索し同じ「取引先ID」のレコードを取得する、という設定です。標準Objの項目のためわかりにくいですが、参照項目の場合は「主.参照項目名」＝「関連.ID」で紐づけられます。

リレーション設定

主オブジェクト
商談 [Opportunity]
main_object

No 関連オブジェクト

1	取引先 [Account]	account	+	-
---	---------------	---------	---	---

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名	
1	取引先 ID	等しい(=)	0-商談 [Opportu]	取引先 ID	AN + -

ビュー設定＜項目設定＞

基本設定 リレーション設定 **出力項目設定** 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 main_object 全項目を追加

No	項目	ビルダー	ソート	グループ	出力項目名
1	"main_object.商談 ID"	項目ビルダー	順	昇順	recordId
2	"	項目ビルダー	順	昇順	ユーザID
3	"	項目ビルダー	順	昇順	セッションID
4	"	項目ビルダー	順	昇順	Partner API URL
5	"	項目ビルダー	順	昇順	組織ID
6	FORMAT_DATE(TODAY(), 'yyyyM')	項目ビルダー	順	昇順	TODAY
7	account.取引先名	項目ビルダー	順	昇順	送信先会社名
8	"	項目ビルダー	順	昇順	送信先氏名
9	"	項目ビルダー	順	昇順	送信先アドレス
10	"	項目ビルダー	順	昇順	自社担当者メール

出力項目設定について

- D3Workerに渡すSalesforceのデータを定義します。
- 「出力項目名」はD3Workerのデータソースと紐づけます。サンプルではすでに同名を登録していますが、Salesforce項目は空ですので次ページの手順で各項目名に項目を指定してください。

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード シフトJIS

先頭行 ☐ データとして使用しない

フィールド

	フィールド名	
1	Partner API URL	▼ ×
2	recordId	▲ ▼ ×
3	セッションID	▲ ▼ ×
4	ユーザID	▲ ▼ ×
5	組織ID	▲ ▼ ×
6	自社担当者メール	▲ ▼ ×
7	送信先アドレス	▲ ▼ ×
8	送信先会社名	▲ ▼ ×
9	送信先氏名	▲ ▼ ×
10	TODAY	▲ ×
	CSVを取得	+ ×

ワーク①のデータソースと同じにします。
* 順不同可

ビュー設定<項目設定>

1	"main_object.商談 II	項目ビルダー	順
2	"	項目ビルダー	順

項目ビルダー

列追加

削除する

構文チェック

列追加

オブジェクト

main_object

列

"Current Generator(s)"

項目名

OK キャンセル

各出力項目名に紐づけるSalesforceの項目を設定します。

1. 「項目ビルダー」をクリックします。
2. 入力されているものは削除します。
3. 「列追加」をクリックします。
4. 使用するオブジェクトと列（項目）を指定してOKをクリックします。

1. 「オブジェクト」はリレーション設定で指定したオブジェクトです。「列」は項目名です。

ビュー設定<項目設定>

項目ビルダー

追加された

main_object.Amount

OK

Salesforce項目が追加された

main_object.金額

- 項目（API参照名）が追加されましたので、OKをクリックします。
- すべての項目を同じように項目指定をしていきます。
- D3Workerのデータソースにフィールドを新規追加した場合は、「+」ボタンで項目を追加してください。

新規追加

項目ビルダー

+

ビュー設定＜出力条件設定＞

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

☒ Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No	取得元	Limit
1	main_object	未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

+



基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

☒ Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No	取得元	Limit
1	main_object	未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	カスタムオブジェクト ID	いずれかと等しい(IN)	パラメータ名 recordId

出力条件設定について

- Salesforceからデータを取得する際の最低限の条件設定です。次のように設定をしてください。

1. main_objectの「+」を押す。
2. 項目名をオブジェクトIDにする。
 1. カスタムオブジェクトの場合は「カスタムオブジェクトID」です。
 2. 標準オブジェクトの場合は「○○ ID」となっていると思われます。API参照名が「Id」となっている項目を指定してください。
3. 演算子は「いずれかと等しい(IN)」
4. 条件値は「パラメータ名」「recordId」

ビュー設定＜出力条件設定＞

- 「保存」 ボタンをクリックしてください。

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

☒ Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1

main_object

Limit

未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値	
1	カスタムオブジェクト ID	いずれかと等しい(IN)	パラメータ	recordId

+
-

2

account

Limit

未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

+

一覧に戻る

戻る

元に戻す

保存

マッピングを更新する

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

マッピング：一覧

新規 インポート

作成者

oproarts連携用


マッピング名	タグ	配備状況	データソース	アクション
(フィルター)		(フィルタ)	(フィ) ↓	
GMO_oproarts_sample_Import202309131522		配備済み 2023/08/09 10:54	Salesforce	

主データ main

ビュー GMO_sample_Import202309131522 取得

No	項目	検索結果
1	recordId	✓
2	ユーザID	✓
3	セッションID	✓
4	Partner API URL	✓

戻る 元に戻す 次へ

1. 「マッピング」タブを開き、編集  します。
2. ビューの「取得」ボタンをクリックします。
 1. ビューの項目を追加/削除している場合はここで内容が更新されます。
3. 「次へ」ですすみます。

マッピングを更新する



ログイン

データソース

Salesforce

☐ Sandboxへ接続する

現在のセッション情報を継続する ログイン

- Salesforceにログインをします。
 - 2回目以降は「現在のセッション情報を継続する」でログインをスキップできます。
- 「D3Worker」タブを開きます。



マッピング：定義 (GMO_oproarts_sample_Import202309131522)

出力確認 Documentizer **D3Worker** CSV

D3Worker

URL https://d3w... 接続

ワーク GMOサイン連携 ([帳票名]) ①SFDC...

送信フィールド

No	Workフィールド	データ	データ
1	Partner API URL	main	rec
2	recordId	main	rec
3	セッションID	main	rec
4	ユーザID	main	rec

D3Workerとの紐づけ

ワーク GMOサイン連携 ([帳票名]) ①SFDC→GMO

送信フィールド

No	Workフィールド	データ	データフィールド	画像
1	Partner API URL	main	Partner API URL	<input type="checkbox"/>
2	recordId	main	recordId	<input type="checkbox"/>
3	セッションID	main	セッションID	<input type="checkbox"/>
4	ユーザID	main	ユーザID	<input type="checkbox"/>
5	組織ID	main	組織ID	<input type="checkbox"/>
6	自社担当者メール	main	自社担当者メール	<input type="checkbox"/>
7	送信先アドレス	main	送信先アドレス	<input type="checkbox"/>
8	送信先会社名	main	送信先会社名	<input type="checkbox"/>
9	送信先氏名	main	送信先氏名	<input type="checkbox"/>
10	TODAY	main	TODAY	<input type="checkbox"/>

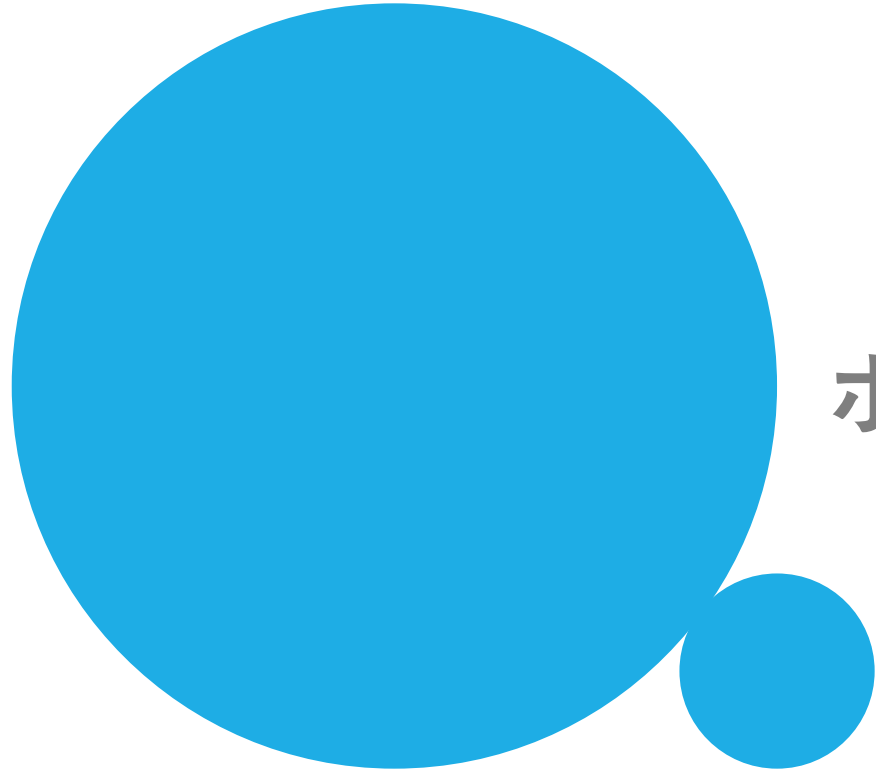
一覧に戻る

自動マッピングをクリックすると、Workフィールドとデータフィールド名を一致させます。

自動マッピング







保存 配備

- 「自動マッピング」をクリックしてください。
- 「配備」ボタンをクリックします。



ボタンの作成

ボタン作成

マッピング名	配備状況	データソース	アクション	APIサンプル
(フィルター)	(フィルター)	(フィル ↓)		
GMO_oproarts_sample_Import202309131522	配備済み 2023/09/14 15:04	Salesforce	    	



出力スクリプトサンプル (Salesforce連携)

サービス

D3Worker

形式

PDF

アップロード

☐ CSVオブジェクトを使用している

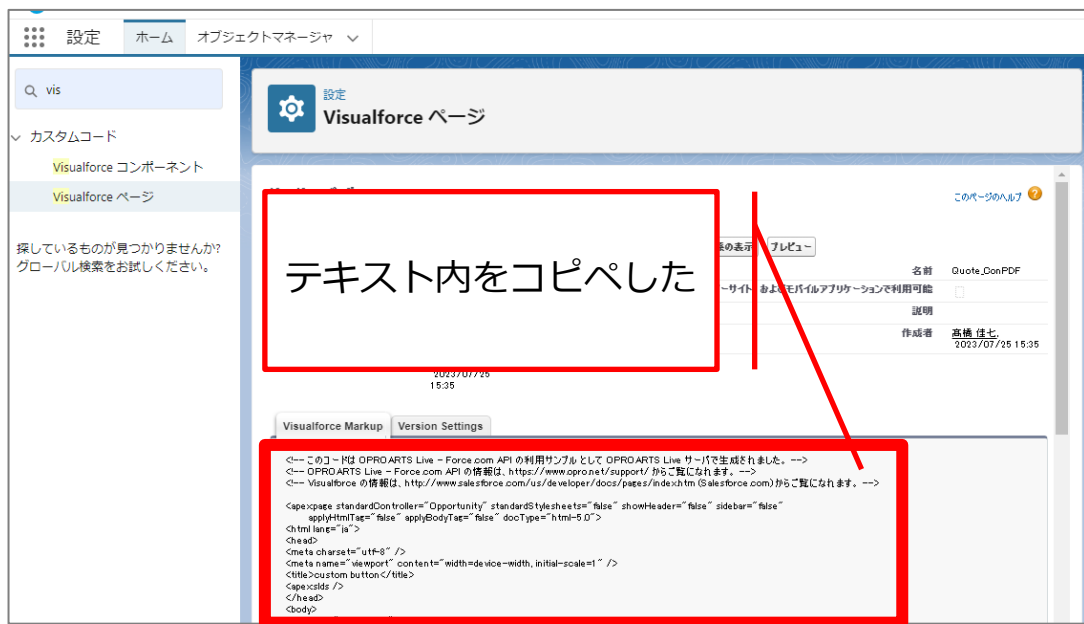
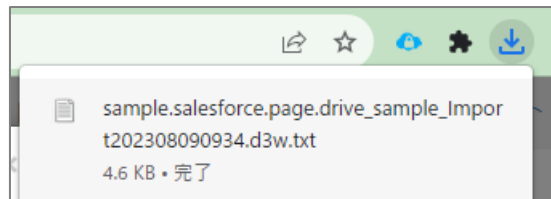
Visualforceページ

Onclick JavaScript

キャンセル

1. マッピングの「APIサンプル」をクリックします。
2. 「サービス」で「D3Worker」を選択します。
3. 「Visualforceページ」ボタンをクリックします。
 1. クラシック画面をお使いの方など、適宜「Onclick JavaScript」をダウンロードいただいても構います。

ボタン作成



1. テキストファイルがダウンロードされますので開きます。

2. Salesforceの設定から「Visualforceページ」を開き、新規作成します。1テキストの内容をコピーしてページを作成してください。

- このテキストは詳細ページから出力するためのコードです。リストビューページにボタンを置く場合はサポートサイトの記事をご覧ください。

- Lightning Experienceのリストビューページ用 ボタン作成 (ViewFramer)

ボタン作成

設定 > オブジェクトマネージャ

商談

詳細

項目とリレーション

ページレイアウト

Lightning レコードページ

ボタン、リンク、およびアクション

コンパクトレイアウト

項目セット

オブジェクト制限

レコードタイプ

条件

商談 アクションを編集

GMOサイン連携

このページのヘルプ

アクション情報を入力

保存 キャンセル

オブジェクト名 商談

アクション種別 カスタム Visualforce

Visualforce ページ GMO_oports_sample_Import202309131522 [GMO_oports_sample_Import202309131522]

高さ 250 ピクセル

標準の表示ラベル ---なし---

表示ラベル GMOサイン連携

名前 GMO

説明

アイコン アイコン変更

保存 キャンセル

1. 主オブジェクトの設定画面から「ボタン、リンク、およびアクション」を開きます。

- リストビューにボタンを置く場合は以下の記事のボタン設定の手順に沿ってください。
- [Lightning Experienceのリストビューページ用ボタン作成 \(ViewFramer\)](#)

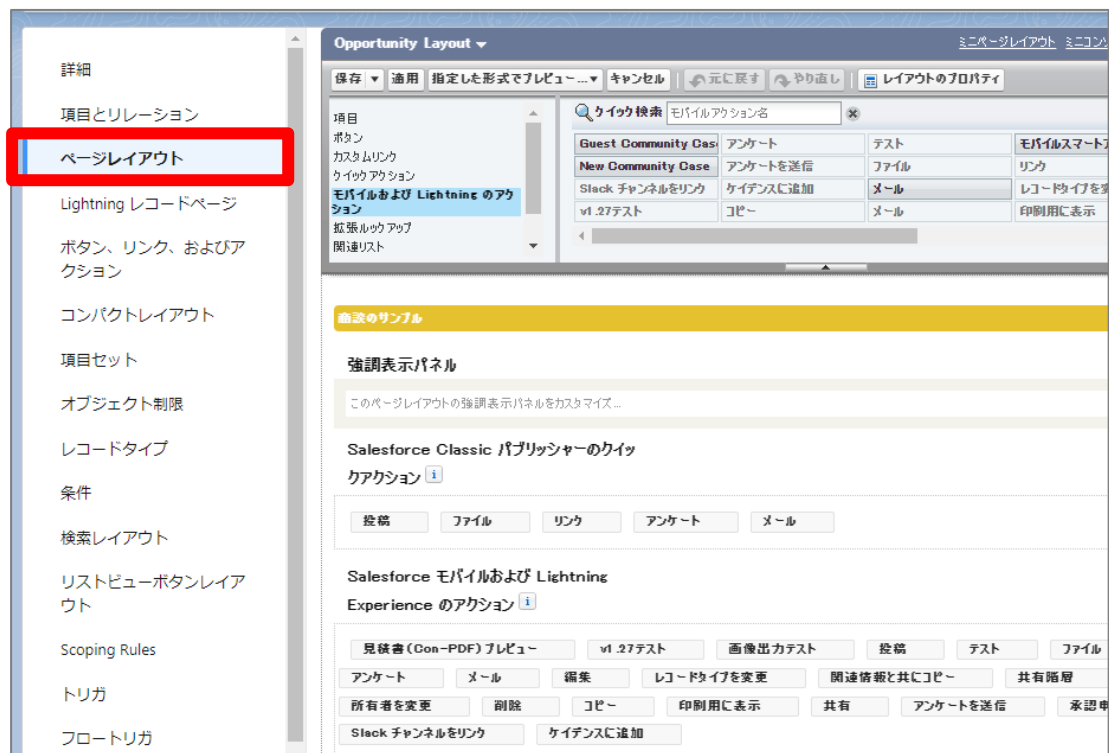
2. 新規アクションで以下の通り設定します。

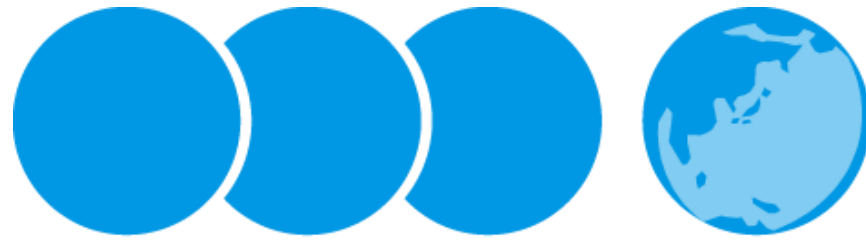
1. アクション種別：カスタムVisualforce
2. Visualforceページ：前ページで作成したページ
3. 表示ラベル：任意（ボタン名）
4. 名前：任意（システム名）

3. 保存をする。

ページに置く

1. ページレイアウトにボタンを表示します。
2. 「モバイルおよびLightningのアクション」から作成したボタンを選択しレイアウト上に置きます。
3. 保存します。





Less is More.